

第11回「めだか祭り」開催!!

去る7月25日(土)に水土里ネットタケル(員井川用水第二土地改良区)が協賛し、「自然と子供と楽しもう」をテーマに「第11回めだか祭り」が、めだかの学校付近で開催され、地域の親子連れや子供たちで賑わった。

水土里ネットタケルでは、今後も「めだか祭り」を地域活動として支援していき、水土里ネットを地域住民にPRしていく予定である。

この「めだか祭り」は、農業経営総合対策事業の一環として計画された「子供たちの農業・農村体験学習推進事業」として、平成16年5月に開校した「めだかの学校」を地域住民のふれあいの場として提供し、事業に対する理解を深めるために催された。

この日は、天候にも恵まれ、たくさんの親子連れや子供たちが訪れ、楽しい時間を過ごした。

ビオトープ(めだか池)では、子供たちが元気よく泳ぐメダカやおたまじゃくしを目で追いつつ、大きな歓声を上げていた。

また、会場付近では地元自治会や漁業組合が中心となり多数のブースが出展され、さらにいろいろな催し物も行われ、大いに盛り上げた。



メダカ池を散策する来場者



観察する子供たち



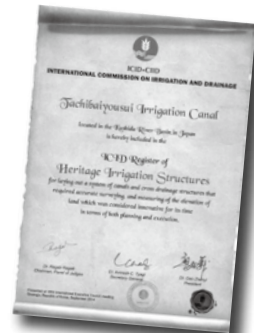
賑わいを見せる会場

立梅用水
土地改良区

立梅用水が世界「かんがい施設遺産」に登録

平成26年9月17日、三重県多気郡多気町勢和地域を流れる歴史的農業水利施設「立梅用水」が、このほど、世界95カ国が加盟する国際かんがい排水委員会（ICID）のかんがい施設遺産に登録されました。ICIDは、かんがいや排水など農業分野での国際的な研究、開発、交流を目的に1950年（昭和25年）にインドで設立されました。かんがい施設遺産は、かんがいの農業史を明らかにし、施設の保全などにもつなげようと、今年度に創設され、建設後100年以上経過のため池、堰、水車などのかんがい施設であるの2点を満たした上で「設計に技術的特長がある」、「長期に保全、管理されてきた」など約10項目の1項目以上に該当することが候補の条件となります。立梅用水では10項目の内、かんがい機能に加え、地域用水として①防災②観光・地域活性③地域教育・福祉④生活

維持⑤小水力発電⑥農村環境保全⑦生態系保全⑧歴史的遺産保全⑨農村協働力・自治形成などの諸機能を有し、地域の人々の暮らしに役立てられていることを紹介しました。国際審査の結果、日本、中国、スリランカ、タイ、パキスタンの17施設が登録され、この内日本からは稲生川（青森県）、雄川堰（群馬県）、七ヶ用水（石川県）、深良用水（静岡県）、立梅用水（三重県）、狭山池（大阪府）、淡山疏水（兵庫県）、山田堰（福岡県）、通潤用水（熊本県）の9施設が登録されました。水土里ネット立梅用水では、世界評価を頂いたことを誇りとし更に地域農業の発展に繋げて行きたいと考えています。



ICIDからの証明書

立梅用水
土地改良区

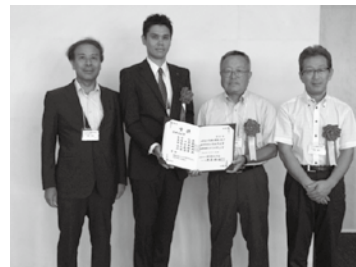
小水力発電プロジェクトが農業農村工学会・優秀技術賞を受賞

8月26日（火）新潟県にて開催されました、農業農村工学会大会に於きまして立梅用水型小水力発電、実証実験の成果が農業農村工学会・優秀技術賞を受賞しました。

業績は「地産地消型の小水力発電プロジェクトと地域活性への取組み」です。左村 公氏（協和コンサルタンツ）・高橋幸照氏（立梅用水土地改良区）・中村好男氏（東京農業大学教授）・金元敏明氏（九州工業大学教授）・伊藤隆幸氏（三重県農林水産部）の共同研究の成果です。



小水力発電実証実験の様子



左より中村好男氏・左村 公氏・高橋幸照氏・伊藤隆幸氏

立梅用水
土地改良区

立梅用水が農業水利施設として我が国初の登録記念物に登録

平成26年9月に三重県多気郡多気町を潤す立梅用水が、国の登録記念物として新たに登録されました。立梅用水は、松阪市の櫛田川から取水して多気町を流れる28 km余りの農業用水路で、文政6年（1823）に西村彦左衛門の指導によって建設され、その後今日まで改修を重ねながら利用されております。当時の用水路のルートはほぼそのまま残されていて、途中、素掘りの隧道や山を削った切り通し、谷を渡る場所には空石積み築堤など、江戸時代の用水路の建設技術を知る上で貴重なものとなっています。



4代目立梅井堰（大正10年完成）

立梅用水は、かんがい用水としての機能に加えて、①防災 ②観光・地域活性 ③地域教育・福祉 ④生活維持 ⑤小水力発電 ⑥農村環境保全 ⑦生態系保全 ⑧歴史的遺産保全 ⑨農村協

働力・自治形成などの諸機能を有し、地域の人々の暮らしに役立てられています。このような多面的機能を積極的に活用することにより、地域の人々の理解が深まり、地域住民と土地改良区の協働による維持管理が図られていることに対して文化的価値が高いとの評価を受け、平成26年6月20日に国の文化審議会は、国内農業水利施設では日本初の登録記念物に登録するように文部科学大臣に答申しました。



立梅用水を多面的活用した波多瀬発電所（大正10年完成）

今回、立梅用水が登録記念物として登録されるに当たり、三重県土地改良事業団体連合会ならびに行政、大学、民間の関係各位のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、今後とも地域が一体となって農業用水の多面的機能の活用を通じた地域づくりに取り組んでいく所存であります。